

平成28年度 関西大学 研修員

研究支援グループ

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究内容の概要	備考
法	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	辰巳 直彦	H28.9.21～ H29.3.31	1.自宅 2.個人研究室 3.関西大学総合図書館 4.法学部資料室	人の知的精神活動や経済活動の結果として生み出された知的財産とそれを保護する知的財産法は、自由競争の支配する市場経済体制の中において以下の機能、すなわち、①絶えざる「新たな競争」を生み出して経済発展を促し、また、②市場での公正な商品流通秩序を確保し、また、③ひいては、公正な競争秩序を実現する機能を有している。そこで、この知的財産法を構成する特許法、商標法、著作権法、不正競争防止法等の各法の体系的な位置づけ及びその機能的・構造的な特質を明らかにし、市場において適切に機能すべく、各法の解釈論的基盤を比較法的な観点からも明らかにする。	
文	春学期2名 秋学期1名 または 春学期1名 秋学期2名 の3名以内	教授	マーク メリ	H28.4.1～ H28.9.20	1.自宅 2.個人研究室 3.国際日本文化研究センター図書館 4.関西大学図書館 5.ロチェスター大学図書館 6.バッファロー大学図書館	「日本の自然観」という言説が、様々な分野にわたって、どのように成立して、進化してきたか、ということを中心に、それが、江戸や明治期に来日した外国人の意見に影響されたかを調査する。また、欧米の環境哲学の中でも「日本の自然観」を推薦している思想が多い為、その分析も行う。	
		教授	串崎 真志	H28.10.1～ H29.3.31	1.自宅 2.関西大学 3.ハワイ大学	1.共感的理解に関する文献の収集 2.調査・実験の実施と分析 3.論文等の執筆	
経	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	松尾 精彦	H28.4.1～ H28.9.20	1.関西大学経済学部 2.神戸大学人間環境学科	1.統計解析ソフトJMPを用いて、一般化線形モデルの分析を行う為の手法について調べるとともに、数学ソフトMathematicaが必要になる場合についてもはっきりさせる。 2.実際のデータをモデルにあてはめ、適合度検定を含めた検定問題を過大分散の場合について考察する。 3.JMPで一般化線形モデルを分析するための方法について指針を与える。	
		教授	土居 潤子	H28.9.21～ H29.3.31	1.同志社大学 2.大阪大学 3.京都大学 4.北海道大学 5.中京大学 6.神戸大学	1.研究成果をまとめ、専門雑誌に投稿する。 2.新しいモデルに関して先行研究をまとめ、新モデルを開発する。 3.新しいモデルを用いて、応用課題について取り組む。 4.灰色収入の測定方法について他のデータを用いて再検討する。 5.実証分析の基礎について学ぶ。	
商	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	荒木 孝治	H28.9.21～ H29.3.31	1.個人研究室 2.自宅 3.関西大学図書館	本の章構成案作成と執筆作業及び、ソフトウェアの作成。 文献調査、学会での情報収集。	
		教授	太田 浩司	H28.9.21～ H29.3.31	1.関西大学個人研究室 2.自宅	証券アナリストや企業の経営者自らが公表する業績予想情報が株式市場に与えるインパクトについて研究を行っており、予想情報に関する最新の研究のサーベイを行うとともに一冊の著書にする。また、予想情報に関して海外研究者との共同研究を進展させる。	
社	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	斉藤 了文	H28.9.21～ H29.3.31	1.関西大学 2.自宅 3.京都大学 4.名古屋大学	工学倫理と工学哲学の研究を進めており、研究会を開催することにより京都大学の伊勢田准教授、名古屋大学の戸田山教授と議論する。また、学会への発表も検討し、著書や論文の作成を行う。	
		准教授	劉 雪雁	H28.4.1～ H28.9.20	1.北京大学ジャーナリズム&コミュニケーション学院 2.中国社会科学院ジャーナリズム&コミュニケーション研究所 3.復旦大学ジャーナリズム学院	北京大学ジャーナリズム&コミュニケーション学院、中国社会科学院ジャーナリズム&コミュニケーション研究所、復旦大学ジャーナリズム学院にて、中国におけるソーシャルメディアとマスメディアの運動について、研究・調査活動を及び、聞き取り調査を行う。	
政策	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	教授	橋本 行史	H28.9.21～ H29.3.31	1.関西大学 2.現地調査先(倉敷・尾道・高砂・京都・桜井など) 3.兵庫県立大学 4.事業構想大学院大学 5.明治大学	政策目標としての地方創生につながる地場産業、地域産業、地域再生に向けての社会的使命をもった事業に焦点をあてて、歴史研究、調査、分析、研究発表までを行う。帆布産業の歴史と発展及び製品化と戦略、日本酒の復権と酒米産地の活性化、地域特性を活かした観光産業の3つをテーマとし事例研究を積み重ね、地方創生・地域活性化の有効なモデルを研究成果として見いだす。	

※ 規程 第3条第1項による在職年数(平成28年4月1日現在)に抵触するものではありません。

平成28年度 関西大学 研修員

研究支援グループ

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究内容の概要	備考
外国	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	教授	加藤 雅人	H28.4.1～ H28.9.20	1.関西大学 個人研究室、図書館 2.京都大学文学研究科西洋思想学研究室、図書館 3.上智大学中世思想研究所、図書館	1.言語分析哲学の主要文献、形而上学の基本文献の批判的解釈を行う。 2.日本語と英語の語彙をいくつか取り上げ、そのプロトタイプを調査することを通じて、日英両言語間の意味の焦点のズレや異同を分析し、認知意味論的立場から考察する。 3.得られた成果を、学会・研究会・著書・論文等で発表する。	
人間	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				
総情	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	浅野 晃	H28.4.1～ H28.9.20	1.横浜国立大学・大学院環境情報研究院 2.名古屋女子大学・家政学部 3.個人研究室	主に横浜国立大学大学院環境情報研究院の岡嶋克典准教授研究室に滞在し、視覚とくに色彩の知覚と認識に関する実験的研究を行う。いくつか構想している色彩知覚の研究について立案し、6ヶ月間の同研究室での研修で研究成果を得る。	
		教授	木谷 晋市	H28.10.1～ H29.3.31	1.個人研究室 2.関西大学図書館 3.兵庫自治研センター 4.大阪市政調査会 5.地方自治総合研究所	世田谷区、横浜市、神戸市、北九州市、高浜市、長野市、花巻市などが展開している都市内分権やコミュニティ予算制度などを実態調査する。地方自治の研究所の持つ理論的成果を収集し研究会等を通じてブラッシュアップする。関連文献を収集し、整理を行い、得られた知見については論文にまとめる。	
社安	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				
シス理	春学期1名 秋学期1名 の2名以内		被選考者なし				
環都	春学期1名 秋学期1名 の2名以内		被選考者なし				
化生	春学期1名 秋学期1名 の2名以内		被選考者なし				
法務	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				
会計	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内	教授	松本 祥尚	H28.9.21～ H29.3.31	1.関西大学 2.神戸大学 3.青山学院大学	これまでの研究成果を整理することから始め、12月までに整理・体系化した上で、1月からは各種研究会及び学会等で経過発表を重ねることで、3月末までに1つの体系化された完全な研究成果として編纂する。	
心理	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				
教育	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				
国際	春学期1名または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				

※ 規程 第3条第1項による在職年数(平成28年4月1日現在)に抵触するものではありません。